

古代中世文学特殊講義Ⅰ			単位数	2単位
授業コード	D1010	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	東城 敏毅			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学Ⅰ			
本授業の概要				
上代文学の学術論文を読み進めることにより、学術論文の構成方法、ならびに論証形式を身に付けると同時に、上代文学の研究手法・問題点等について議論する。さらに、現在学界において、どのような問題点が考察・検討されているのかを概観し、上代文学の諸問題について理解を深める。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	学術論文の読み方について修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	博士論文執筆に应用できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内での学術論文演習 50%			1／2
2	論文執筆 50%			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 授業ガイダンス 2. 博士論文構成案の検討（1） 3. 博士論文構成案の検討（2） 4. 論文読解・討議（1） 5. 論文読解・討議（2） 6. 論文読解・討議（3） 7. 論文読解・討議（4） 8. 論文読解・討議（5） 9. 論文読解・討議（6） 10. 論文読解・討議（7） 11. 論文読解・討議（8） 12. 論文読解・討議（9） 13. 論文読解・討議（10） 14. 参考文献目録の作成 15. 議論の総括				

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
石黒圭『文系研究者になる』（研究社、2021） 他、授業中に適宜指示する。 また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
オフィスアワー
火曜日5限
連絡先
tojyo@m.ndsu.ac.jp
留意事項
自らの研究テーマにおける学術論文を数多く読みこなすこと。

古代中世文学特殊講義II			単位数	2単位
授業コード	D1015	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	東城 敏毅			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学 I			
本授業の概要				
上代文学の学術論文を読み進めることにより、学術論文の構成方法、ならびに論証形式を身に付けると同時に、上代文学の研究手法・問題点等について議論する。さらに、現在学界において、どのような問題点が考察・検討されているのかを概観し、上代文学の諸問題について理解を深める。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	学術論文の読み方について修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	博士論文執筆に应用できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内での学術論文演習 50%			1／2
2	論文執筆 50%			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 授業ガイダンス 2. 博士論文目次案の検討（1） 3. 博士論文目次案の検討（2） 4. 論文読解・討議（1） 5. 論文読解・討議（2） 6. 論文読解・討議（3） 7. 論文読解・討議（4） 8. 論文読解・討議（5） 9. 論文読解・討議（6） 10. 論文読解・討議（7） 11. 論文読解・討議（8） 12. 論文読解・討議（9） 13. 論文読解・討議（10） 14. 参考文献目録の作成 15. 議論の総括				

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
石黒圭『文系研究者になる』（研究社、2021） 他、授業中に適宜指示する。 また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
オフィスアワー
火曜日5限
連絡先
tojyo@m.ndsu.ac.jp
留意事項
自らの研究テーマにおける学術論文を数多く読みこなすこと。

古代中世文学特殊講義III			単位数	2単位
授業コード	D1020	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	中井 賢一			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学 I			
本授業の概要				
平安文学における諸問題について、昨今の研究動向を踏まえた精緻な検証を基に、博士論文としてまとめる力を養う。主として、受講者の問題設定に即した演習を行うものとする。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	平安文学における諸問題について、その解決に向けた精緻、且つ清新な論文を執筆する力を身に付けることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	レポート 40%			1
2	発表内容と質疑応答状況 40%			1
3	復習シート10%			1
4	口頭試問 10%			1
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 講義概要の説明 2. 平安文学全般の諸問題 3. 発展的研究手法と先行研究・学界動向の理解 1 4. 発展的研究手法と先行研究・学界動向の理解 2 5. 発展的研究手法と先行研究・学界動向の理解 3 6. 受講者による演習1 7. 受講者による演習2 8. 受講者による演習3 9. 受講者による演習4 10. 受講者による演習5 11. 受講者による演習6 12. 受講者による演習7 13. 受講者による演習8 14. 受講者による演習9 15. まとめ				

試験等
学期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
（予習）発表準備など（適宜） （復習）追加調査など（適宜）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に指示する。
オフィスアワー
金曜日5限（1・2期）
連絡先
k_nakai@m.ndsu.ac.jp
留意事項
状況に応じ、写本や古注釈、漢文資料を用いる。関係する古注釈・先行研究について、積極的に調べておくこと。授業の多くは演習形式となるため、各自、テーマ設定の上、あらかじめ発表資料を作成・配布すること。 なお、「Ⅲ」・「Ⅳ」と連続で履修することを原則とする。

古代中世文学特殊講義Ⅳ			単位数	2単位
授業コード	D1025	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	中井 賢一			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学Ⅰ			
本授業の概要				
平安文学における諸問題について、昨今の研究動向を踏まえた精緻な検証を基に、博士論文としてまとめる力を養う。主として、受講者の問題設定に即した演習を行うものとする。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	平安文学における諸問題について、その解決に向けた精緻、且つ清新な論文を執筆する力を身に付けることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	レポート 40%			1
2	発表内容と質疑応答状況 40%			1
3	復習シート10%			1
4	口頭試問 10%			1
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 講義概要の説明 2. 平安期物語の諸問題（一部、鎌倉・室町期物語を含む） 3. 発展的研究手法と先行研究・学界動向の理解（中古以外の学会の動向も含む）1 4. 発展的研究手法と先行研究・学界動向の理解（中古以外の学会の動向も含む）2 5. 発展的研究手法と先行研究・学界動向の理解（中古以外の学会の動向も含む）3 6. 受講者による演習1 7. 受講者による演習2 8. 受講者による演習3 9. 受講者による演習4 10. 受講者による演習5 11. 受講者による演習6 12. 受講者による演習7 13. 受講者による演習8 14. 受講者による演習9 15. まとめ				

試験等
学期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
（予習）発表準備など（適宜） （復習）追加調査など（適宜）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に指示する。
オフィスアワー
金曜日5限（1・2期）
連絡先
k_nakai@m.ndsu.ac.jp
留意事項
状況に応じ、写本や古注釈、漢文資料を用いる。関係する古注釈・先行研究について、積極的に調べておくこと。授業の多くは演習形式となるため、各自、テーマ設定の上、あらかじめ発表資料を作成・配布すること。 なお、「Ⅲ」・「Ⅳ」と連続で履修することを原則とする。

古代中世文学特殊講義V			単位数	2単位
授業コード	D1030	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	阿部 泰郎			
時間割備考	日程は別途指示する			
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学 I			
本授業の概要				
仏教を受容した日本では、その象徴である仏像の聖性をめぐって、人間の苦悩や受難を、造られたモノとしての仏像が身代りとなって傷付くという霊験譚が、古代から中世にかけて広く流布していた。また仏像そのものが生ける如来や菩薩として造られ祀られる「生身」信仰が、普遍的なく聖なるもの>として出現する。その一方、仏法を滅し障碍しようとする“反仏法”の存在が、たとえば「天狗」という説話上の存在として中世に登場する。それはまた、「第六天魔王」の伝承のような、中世につくりだされたあらたな神話として展開する。そうした、中世日本の<聖なるもの>と反<聖なるもの>=<魔>の両義的な世界像とその系譜を、中世説話や文学作品、芸能など領域を越えて探究する。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	中世日本に生きた人々の宗教的心性とは如何なるもので、どのように形成されたのか、文学における精神的課題を理解することを通じて、中世人の世界像を認識することができる。			思考・判断・表現力
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	上記の問題に関する理解や認識が、受講者自身の主体的な研究対象において如何に意識され反映しているか、研究レポートや討議を通して評価する。			1
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1、生身と流血-傷つき血を流す仏像の伝承 2、始まりのテキスト-中世世界の始原を語る書かれた伝承 3、音声と音楽-未然を告げる声わざと楽器の霊異譚 4、日本紀と未来記-中世日本の未来を示す野馬台詩と神話 5、鬼と童子-退治される鬼と追放される童子 6、変換する性-トランスジェンダーと取り替えの物語 7、今は昔-説話という物語テキストの枠組みと媒介 8、古えを鏡に懸ける物語-対話様式テキストの系譜 9、経蔵と宝蔵-中世宮廷と寺院における知のテキストの集積 10、六道の現前-仏教世界像の中世日本における再現化 11、修行と参詣-行者の霊地斗撒から衆庶の巡礼へ 12、縁起と霊験-古代寺院から霊験所への参詣感得へ 13、浄土憧憬と往生-往生伝の生成と浄土の聖地 14、天狗と魔界の誘惑-天狗説話の系譜と芸能化 15、絵巻が象る世界像-社寺縁起絵巻の生み出す中世				

古代中世文学課題研究I			単位数	2単位
授業コード	D1040	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	東城 敏毅			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）	1 講義			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学 I			
本授業の概要				
履修者の研究課題に集中的・焦点的に取り組む。また研究課題に対して、議論の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成に向けての討議を繰り返す。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	博士論文作成に必要な研究方法を修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	学会発表の方法について修得できる			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3	博士論文執筆の方法について修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内演習（発表演習・論文作成演習）20%			1／2／3
2	学会発表（プレ発表含）30%			1／2／3
3	論文執筆 50%			1／2／3
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 博士論文内容の検討 2. 博士論文の方法論の検討 3. 博士論文の構成の検討 4. 博士論文目次案の作成と検討 5. 発表・討議（1） 6. 発表・討議（2） 7. 論文執筆・討議（1） 8. 論文執筆・討議（2） 9. 学会プレ発表・討議（3） 10. 学会プレ発表・討議（4） 11. 論文執筆・討議（3） 12. 論文執筆・討議（4） 13. 論文執筆・討議（5） 14. 議論の総括（1） 15. 議論の総括（2）				

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
石黒圭『文系研究者になる』（研究社、2021） 他、授業中に適宜指示する。 また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
オフィスアワー
火曜日5限
連絡先
tojyo@m.ndsu.ac.jp
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

古代中世文学課題研究II			単位数	2単位
授業コード	D1045	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	東城 敏毅			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	古代中世文学			
本授業の概要				
履修者の研究課題に集中的・焦点的に取り組む。また研究課題に対して、議論の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成に向けての討議を繰り返す。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	博士論文作成に必要な研究方法を修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	学会発表の方法について修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3	博士論文執筆の方法について修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内演習（発表演習・論文作成演習）20%			1／2／3
2	学会発表（プレ発表含）30%			1／2／3
3	論文執筆 50%			1／2／3
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 博士論文内容の検討 2. 博士論文の方法論の検討 3. 博士論文の構成の検討 4. 博士論文目次案の作成と検討 5. 学会プレ発表・討議（1） 6. 学会プレ発表・討議（2） 7. 学会プレ発表・討議（3） 8. 学会プレ発表・討議（4） 9. 論文執筆・討議（1） 10. 論文執筆・討議（2） 11. 論文執筆・討議（3） 12. 論文執筆・討議（4） 13. 論文執筆・討議（5） 14. 論文の総括（1） 15. 論文の総括（2）				

試験等
学術論文提出
試験のフィードバックの方法
随時質問を受け付ける。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
石黒圭『文系研究者になる』（研究社、2021） 他、授業中に適宜指示する。 また、自らの研究テーマにおける参考文献を随時作成すること。
オフィスアワー
火曜日5限
連絡先
tojyo@m.ndsu.ac.jp
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

古代中世文学課題研究I				単位数	2単位
授業コード	D1050	科目ナンバリング		開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	中井 賢一				
時間割備考					
授業形態（主）	2 演習				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）	古代中世文学				
本授業の概要					
履修者の研究課題に集中的・焦点的に取り組む。また研究課題に対して、議論の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成に向けての討議を繰り返す。					
アクティブラーニングの実施内容		調査学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	博士論文作成に必要な研究方法を修得できる。			知識・技能	
2	学会発表の方法について修得できる。			知識・技能／主体性	
3	博士論文執筆の方法について修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業内演習（発表演習・論文作成演習）20%			1／2／3	
2	学会発表（プレ発表含）30%			1／2	
3	論文執筆 50%			1／2／3	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1. 博士論文内容の検討 2. 博士論文の方法論の検討 3. 博士論文の構成の検討 4. 博士論文目次案の作成と検討 5. 発表・討議（1） 6. 発表・討議（2） 7. 論文執筆・討議（1） 8. 論文執筆・討議（2） 9. 学会プレ発表・討議（3） 10. 学会プレ発表・討議（4） 11. 論文執筆・討議（3） 12. 論文執筆・討議（4） 13. 論文執筆・討議（5） 14. 議論の総括（1） 15. 議論の総括（2）					

試験等
学期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜指示する。
オフィスアワー
金曜日5限（1・2期）
連絡先
k_nakai@m.ndsu.ac.jp
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

古代中世文学課題研究II			単位数	2単位
授業コード	D1055	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	中井 賢一			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学 I			
本授業の概要				
履修者の研究課題に集中的・焦点的に取り組む。また研究課題に対して、議論の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成に向けての討議を繰り返す。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	博士論文作成に必要な研究方法を修得できる。			知識・技能
2	学会発表の方法について修得できる。			知識・技能
3	博士論文執筆の方法について修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内演習（発表演習・論文作成演習）20%			1／2／3
2	学会発表（プレ発表含）30%			1／2
3	論文執筆 50%			1／2／3
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 博士論文内容の検討 2. 博士論文の方法論の検討 3. 博士論文の構成の検討 4. 博士論文目次案の作成と検討 5. 学会プレ発表・討議（1） 6. 学会プレ発表・討議（2） 7. 学会プレ発表・討議（3） 8. 学会プレ発表・討議（4） 9. 論文執筆・討議（1） 10. 論文執筆・討議（2） 11. 論文執筆・討議（3） 12. 論文執筆・討議（4） 13. 論文執筆・討議（5） 14. 論文の総括（1） 15. 論文の総括（2）				

試験等
学期末レポートを課す。
試験のフィードバックの方法
コメント表を出す。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜指示する。
オフィスアワー
金曜日5限（1・2期）
連絡先
留意事項
学術論文を数多く読みこなすこと。学会発表をこなすこと。論文執筆を積極的に進めること。

近世近代文学特殊講義Ⅰ			単位数	2単位
授業コード	D1110	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	山根 道公			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学Ⅱ			
本授業の概要				
日本近代文学にはキリスト教的、聖書的影響のある作品が多くあるが、そうした中から明治から戦前までの小説および詩を取り上げ、キリスト教的思想や聖書の象徴表現などに注目して分析、読解を行う作品研究を試みる。さらにそうした作品研究を踏まえて、作家研究にも取り組む。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	キリスト教的、聖書の主題をもつ日本近代文学の作品を分析する方法を修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内活動と研究レポートにより評価する。			1
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 導入 2. 日本近代文学におけるキリスト教の影響のある作品・作家の概説。 （明治～戦前） 3. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その1 4. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その2 5. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その3 6. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その4 7. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その5 8. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その6 9. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その7 10. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その8 11. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その1 12. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その2 13. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その3 14. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その4 15. まとめ				

試験等
レポート提出（課題の内容については授業中に指示する）
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
事前に作品を読む予習をしておくこと。（約2時間） 主体的に問題意識をもって自分の作品分析と考察をしておくこと。（約1時間） 講義後に、自分の作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。（約1時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に指示する。
オフィスアワー
金曜日 12：00-13：00。メールで質問、相談等は随時受け付ける。
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
講義で取り上げる作品および指示する参考文献を予め読んでおくこと。

近世近代文学特殊講義II			単位数	2単位
授業コード	D1115	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	山根 道公			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	近世近代文学			
本授業の概要				
日本近代文学にはキリスト教的、聖書的影響のある作品が多くあるが、そうした中から戦後の小説および詩を取り上げ、キリスト教的思想や聖書の象徴表現などに注目して分析、読解を行う作品研究を試みる。さらにそうした作品研究を踏まえて、作家研究にも取り組む。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	キリスト教的、聖書の主題をもつ日本近代文学の作品を分析する方法を修得できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内活動と研究レポートにより評価する。			1
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 導入 2. 日本近代文学におけるキリスト教の影響のある作品・作家の概説。（戦後～） 3. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その1 4. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その2 5. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その3 6. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その4 7. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その5 8. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その6 9. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その7 10. 具体的な作品を選んで、分析、読解を行う。その8 11. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その1 12. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その2 13. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その3 14. 作品研究を踏まえて、作家研究を行う。その4 15. まとめ				

試験等
レポート提出（課題の内容については授業中に指示する）
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
事前に作品を読む予習をしておくこと。（約2時間） 主体的に問題意識をもって自分の作品分析と考察をしておくこと。（約1時間） 講義後に、自分の作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。（約1時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に指示する。
オフィスアワー
金曜日12：30-13：00。メールで質問、相談等は随時受け付ける。
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
講義で取り上げる作品および指示する参考文献を予め読んでおくこと。

[illegible]

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
授業中にフィードバックする。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
予告された授業内容について自己の研究と関わる予習をしておくこと。（約2時間） 授業での指導により自己の研究に関わる調査・考察などの復習をすること。（約2時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜紹介する。
オフィスアワー
火曜日 2 時限。その他、メール予約の上、随時対応する。
連絡先
t-yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
各自の研究対象となる作家について、作家、作品、および先行研究における必要な情報を系統的かつ網羅的に収集・整理し、表などにまとめて提示できるようにしておくこと。

近世近代文学特殊講義Ⅳ						【単位数		】2単位	
授業コード		D1125		科目ナンバリング		開講年度学期		2024年度第2期	
担当者氏名		山根 知子							
時間割備考									
授業形態（主）		1 講義							
授業形態（副）		2 演習							
担当形態		単独							
研究分野（大学院）		日本文学Ⅱ							
本授業の概要									
日本近代文学の作品を対象に、一次資料から二次資料にいたる綿密な調査および系統的な整理を行い、そうした基礎資料の把握を踏まえた本文批評を経て、目的および方法論を明確にした作品論・作家論に取り組む。									
アクティブラーニングの実施内容				調査学習					
到達目標							対応するディプロマポリシー （1 知識・技能／2 思考・判断・表現力／3 主体性）		
1	作家・作品に関する情報を、作家論・作品論につなげる方法を身につけることができる。						知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
2	収集した文献資料を客観的に整理し、内容を的確に把握することができる。						知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
3	実証性の高い論文を作成できる。						知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
4									
5									
成績評価の基準							対応する到達目標の番号		
1	授業内活動：30%						1／2／3		
2	論文：70%						1／2／3		
3									
4									
5									
実務経験のある教員による授業科目									
実務経験の授業への活用方法									
日本語以外の言語による授業									
授業予定一覧									
1.	作品・作家に関する資料の調査・整理方法の紹介		その1						
2.			その2						
3.			その3						
4.	先行研究における調査・整理方法の紹介		その1						
5.			その2						
6.			その3						
7.	具体的な研究例について講義		その1						
8.					その2				
9.			その3						
10.	各自の研究課題に対する方法論や問題点の検討		その1						
11.			その2						
12.			その3						
13.	論文作成指導		その1						
14.			その2						
15.			その3						
論文提出									

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
授業中にフィードバックする。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
予告された授業内容について自己の研究と関わる予習をしておくこと。（約2時間） 授業での指導により自己の研究に関わる調査・考察などの復習をすること。（約2時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜紹介する。
オフィスアワー
火曜日2時限。その他、メール予約の上、随時対応する。
連絡先
t-yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
各自の研究対象となる作家について、作家、作品、および先行研究における必要なデータを系統的かつ網羅的に収集・整理し、表などにまとめて提示できるようにしておくこと。

近世近代文学特殊講義Ⅵ			単位数	2単位
授業コード	D1140	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	長原　しのぶ			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学Ⅱ			
本授業の概要				
日本近現代文学（サブカルチャー含む小説）の作品研究・作家研究を行う。文学を形成する背景である社会事情とメディア、執筆材料などを客観的な資料として用いた実践的な方法で考察と分析を行う。				
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	必要な資料の収集とその資料を用いた作品研究もしくは作家研究ができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	客観的で論理的な思考をもって研究論文を作成できる。		思考・判断・表現力／主体性	
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内での演習（取り組みと発表）と最終レポート（論文）により総合的に評価する。 取り組み（提出課題含む）40%		1	
2	発表20%		1	
3	最終レポート（論文）40%		1／2	
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第 1 回：授業についてのガイダンスと導入（翻案小説を例とする実践的方法について） 第 2 回：昭和史の中の文学について 第 3 回：現代史の中の文学について 第 4 回：メディア史の中の文学について 第 5 回：作品研究の実例検証① 第 6 回：作品研究の実例検証② 第 7 回：作家研究の実例検証① 第 8 回：作家研究の実例検証② 第 9 回：客観的資料の収集と分析方法について 第 10 回：作品分析と考察① 第 11 回：作品分析と考察② 第 12 回：作品分析と考察③ 第 13 回：作品分析と考察④ 第 14 回：研究方法の総括 第 15 回：最終レポートの指導				

試験等
期末レポート（論文）
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い，事前学習となる予習をしておくこと。（約2時間） 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど，作品分析と考察の準備をしておくこと。（約2時間） 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど，復習をすること。（約2時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜指示する。
オフィスアワー
火曜日2限
連絡先
nagahara@m.ndsu.ac.jp
留意事項
近代以降の社会事情とメディア史を理解し，作品研究の幅を広げること。

近世近代文学特殊講義VII			単位数	2単位
授業コード	D1145	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	長原　しのぶ			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学Ⅱ			
本授業の概要				
日本近現代文学（サブカルチャー含む小説）の作品研究・作家研究を具体的な作品を用いて行う。受講生の論文作成に資する文献を読んでいく。				
アクティブラーニングの実施内容				
問題解決型学習				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	取り上げた文献について理解した上で、作品研究もしくは作家研究ができる。			知識・技能／思考・判断・表現力
2	学術論文の展開方法と立証方法が理解できる。			思考・判断・表現力／主体性
3	客観的で論理的な思考をもって研究論文を作成できる。			思考・判断・表現力／主体性
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内での演習（取り組みと発表）と最終レポート（論文）により総合的に評価する。 取り組み（提出課題含む）40%			1／2
2	発表20%			1／2
3	最終レポート（論文）40%			1／2／3
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第 1 回：授業についてのガイダンスと導入（文学研究の方法論）				
第 2 回：昭和の研究史				
第 3 回：現代の研究史				
第 4 回：文献研究①				
第 5 回：文献研究②				
第 6 回：文献研究③				
第 7 回：文献研究④				
第 8 回：作品研究の実例検証				
第 9 回：作家研究の実例検証				
第 10 回：作品分析と考察①				
第 11 回：作品分析と考察②				
第 12 回：作品分析と考察③				
第 13 回：作品分析と考察④				
第 14 回：研究方法の総括				
第 15 回：最終レポートの指導				

試験等
最終レポート（論文）
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い，事前学習となる予習をしておくこと。（約2時間） 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど，作品分析と考察の準備をしておくこと。（約2時間） 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど，復習をすること。（約2時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業中に適宜指示する。
オフィスアワー
火曜日3限
連絡先
（長原）nagahara@m.ndsu.ac.jp
留意事項
数多くの文献を読み，作品研究と作家研究の幅を広げること。

近世近代文学課題研究I			単位数	2単位
授業コード	D1150	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	長原　しのぶ			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学Ⅱ			
本授業の概要				
学生個人の主体的な問題意識や学生の希望する研究課題に指導教員が助言しながら、集中的、焦点的に取り組む研究の場である。課題に対して指導の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成の助言と指導を行う。				
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	博士論文の作成ができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	作成した論文等の達成度によって判断する。			1
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 博士論文作成計画　その 1 2. 　　　　　　　　　　　その 2 3. テキスト分析　　その 1 4. 　　　　　　　　　　　その 2 5. 　　　　　　　　　　　その 3 6. 文献調査　　その 1 7. 　　　　　　　　　　　その 2 8. 　　　　　　　　　　　その 3 9. 論文作成　　その 1 10. 　　　　　　　　　その 2 11. 　　　　　　　　　その 3 12. 　　　　　　　　　その 4 13. 　　　　　　　　　その 5 14. 論文への評価・検討　その 1 15. 論文への評価・検討　その 2 論文提出				

試験等
博士論文
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い，事前学習となる予習をしておくこと。（約2時間） 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど，作品分析と考察の準備をしておくこと。（約2時間） 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど，復習をすること。（約2時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
授業内で適宜指示する。
オフィスアワー
火曜日2限
連絡先
nagahara@m.ndsu.ac.jp
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

近世近代文学課題研究II			単位数	2単位
授業コード	D1155	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	長原　しのぶ			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本文学Ⅱ			
本授業の概要				
学生個人の主体的な問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的、焦点的に取り組む研究の場である。課題に対して、指導の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成の助言と指導を行う。				
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	博士論文の作成ができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	作成した論文等の達成度によって判断する。			1
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 博士論文作成計画の再検討　その 1 2. 　　　　　　　　　　　　　　　その 2 3. テキスト分析の再検討　　その 1 4. 　　　　　　　　　　　　　　　その 2 5. 　　　　　　　　　　　　　　　その 3 6. 文献の再調査　　その 1 7. 　　　　　　　　　　　　　　　その 2 8. 　　　　　　　　　　　　　　　その 3 9. 論文作成　　その 1 10. 　　　　　　　　　　　　　　　その 2 11. 　　　　　　　　　　　　　　　その 3 12. 　　　　　　　　　　　　　　　その 4 13. 　　　　　　　　　　　　　　　その 5 14. 論文への評価・再検討　その 1 15. 論文への評価・再検討　その 2 論文提出				

近世近代文学課題研究Ⅰ						単位数		2単位	
授業コード		D1160	科目ナンバリング				開講年度学期		2024年度第1期
担当者氏名		山根　知子							
時間割備考									
授業形態（主）		2 演習							
授業形態（副）									
担当形態		単独							
研究分野（大学院）		日本文学Ⅱ							
本授業の概要									
学生個人の主体的な問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的、焦点的に取り組む研究の場である。課題に対して、指導の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成の助言と指導を行う。									
アクティブラーニングの実施内容				調査学習					
到達目標							対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）		
1	博士論文を作成することができる。						知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
2									
3									
4									
5									
成績評価の基準							対応する到達目標の番号		
1	作成された論文等の達成度によって判断する。						1		
2									
3									
4									
5									
実務経験のある教員による授業科目									
実務経験の授業への活用方法									
日本語以外の言語による授業									
授業予定一覧									
1． 博士論文作成計画 その 1									
2． その 2									
3． テキスト分析 その 1									
4． その 2									
5． その 3									
6． 文献調査 その 1									
7． その 2									
8． その 3									
9． 論文作成 その 1									
10． その 2									
11． その 3									
12． その 4									
13． その 5									
14． 論文への評価・検討 その 1									
15． 論文への評価・検討 その 2									
論文提出									

近世近代文学課題研究Ⅱ						単位数	2単位
授業コード	D1165	科目ナンバリング		開講年度学期	2024年度第2期		
担当者氏名	山根 知子						
時間割備考							
授業形態（主）	2 演習						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）	日本文学Ⅱ						
本授業の概要							
学生個人の主体的な問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的、焦点的に取り組む研究の場である。課題に対して、指導の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成の助言と指導を行う。							
アクティブラーニングの実施内容							
調査学習							
到達目標						対応するディプロマポリシー （1 知識・技能／2 思考・判断・表現力／3 主体性）	
1	博士論文を作成することができる。					知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2							
3							
4							
5							
成績評価の基準						対応する到達目標の番号	
1	作成した論文等の達成度によって判断する。					1	
2							
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
1. 博士論文作成計画の再検討 その 1							
2. その 2							
3. テキスト分析の再検討 その 1							
4. その 2							
5. その 3							
6. 文献の再調査 その 1							
7. その 2							
8. その 3							
9. 論文作成 その 1							
10. その 2							
11. その 3							
12. その 4							
13. その 5							
14. 論文への評価・再検討 その 1							
15. 論文への評価・再検討 その 2							
論文提出							

[illegible]

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い、事前学習となる予習をしておくこと。（約2時間） 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど、作品分析と考察の準備をしておくこと。（約2時間） 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。（約2時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
適宜指示する。
オフィスアワー
金曜日 12：30-13：00 メールで質問、相談等、随時受け付ける。
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

近世近代文学課題研究II						単位数	2単位
授業コード	D1175	科目ナンバリング		開講年度学期	2024年度第2期		
担当者氏名	山根 道公						
時間割備考							
授業形態（主）	2 演習						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）	日本文学Ⅱ						
本授業の概要							
学生個人の主体的な問題意識や学生の希望する研究課題に、指導教員が助言しながら、集中的、焦点的に取り組む研究の場である。課題に対して、指導の徹底と研究の深化を図ることによって、博士論文作成の助言と指導を行う。							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標						対応するディプロマポリシー （1 知識・技能 / 2 思考・判断・表現力 / 3 主体性）	
1	博士論文作成のために、主体的な問題意識をもって、集中的、焦点的に研究に取り組むことができる。					思考・判断・表現力	
2							
3							
4							
5							
成績評価の基準						対応する到達目標の番号	
1	作成した論文等の達成度によって判断する。					1	
2							
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
1. 博士論文作成計画の再検討 その 1							
2. その 2							
3. テキスト分析の再検討 その 1							
4. その 2							
5. その 3							
6. 文献の再調査 その 1							
7. その 2							
8. その 3							
9. 論文作成 その 1							
10. その 2							
11. その 3							
12. その 4							
13. その 5							
14. 論文への評価・再検討 その 1							
15. 論文への評価・再検討 その 2							
論文提出							

試験等
論文提出
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
作家と作品についての資料収集と整理を行い、事前学習となる予習をしておくこと。（約2時間） 先行研究の問題点や自分の着眼点を的確に説明できる発表資料を作成するなど、作品分析と考察の準備をしておくこと。（約2時間） 自分の発表時に受けたアドバイスにより作品分析と考察の内容に修正を加えるなど、復習をすること。（約2時間）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
適宜指示する。
オフィスアワー
金曜日 12：30-13：00
連絡先
yamane@m.ndsu.ac.jp
留意事項
数多くの文献を読みこなすこと。

日本語学特殊講義III			単位数	2単位
授業コード	D1220	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	尾崎 喜光			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）				
本授業の概要				
日本語において敬語と同様に対人配慮を示す補助動詞としての授受表現（「～てあげる」「～てもらう」「～くださる」等の表現）、中でも最近増加傾向にある依頼場面での「～てもらっていい？」（およびそのバリエーション）に注目し、こうした表現が文学作品においていつ頃から使われ始めているか等について研究する。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	先行研究を精読して理解できる。		知識・技能／思考・判断・表現力	
2	研究対象とする文学作品が選定できる。		知識・技能／主体性	
3	該当表現を抽出してPGに適切に蓄積できる。		知識・技能／主体性	
4	該当表現について分析できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5	分析結果を研究レポートとしてまとめることができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業活動内容：50%		1／3／4	
2	研究レポート：50%		5	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第1回：ガイダンス 第2回：先行研究の精読と読解 第3回：分析対象とする小説についての検討（1） 第4回：分析対象とする小説についての検討（2） 第5回：データの蓄積方法についての検討 第6回：予備的分析の報告と検討（1） 第7回：予備的分析の報告と検討（2） 第8回：分析対象とする小説についての再検討（1） 第9回：分析対象とする小説についての再検討（2） 第10回：中間分析の報告と検討（1） 第11回：中間分析の報告と検討（2） 第12回：中間分析の報告と検討（3） 第13回：分析の観点に関する再検討 第14回：分析の観点に関する再検討を受けての予備的分析の報告（1） 第15回：分析の観点に関する再検討を受けての予備的分析の報告（2）				

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
研究室にて個別に伝える。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決方法を考えるとともに、解決方法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
木曜日3限
連絡先
yozaki@post.ndsu.ac.jp
留意事項

日本語学特殊講義Ⅳ			単位数	2単位
授業コード	D1225	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	尾崎 喜光			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）				
本授業の概要				
日本語において敬語と同様に対人配慮を示す補助動詞としての授受表現（「～てあげる」「～てもらう」「～くださる」等の表現）、中でも最近増加傾向にある依頼場面での「～てもらっていい？」（およびそのバリエーション）に注目し、こうした表現が文学作品においていつ頃から使われ始めているか等について研究する。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	先行研究を精読して理解できる。		知識・技能／思考・判断・表現力	
2	研究対象とする文学作品が選定できる。		知識・技能／主体性	
3	該当表現を抽出してPGに適切に蓄積できる。		知識・技能／主体性	
4	該当表現について分析できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5	分析結果を研究レポートとしてまとめることができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業活動内容：50%		1／3／4	
2	研究レポート：50%		5	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第1回：夏季休暇の間の進捗状況についての確認 第2回：分析対象とする小説についての再検討 第3回：中間分析の報告と検討（1） 第4回：中間分析の報告と検討（2） 第5回：中間分析の報告と検討（3） 第6回：分析報告と検討（1） 第7回：分析報告と検討（2） 第8回：分析報告と検討（3） 第9回：分析報告と検討（4） 第10回：分析報告と検討（5） 第11回：分析報告と検討（6） 第12回：分析報告と検討（7） 第13回：分析報告と検討（8） 第14回：分析報告と検討（9） 第15回：総括				

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
研究室にて個別に伝える。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決方法を考えるとともに、解決方法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
水曜日2限
連絡先
yozaiki@post.ndsu.ac.jp
留意事項

日本語学特殊講義VI			単位数	2単位
授業コード	D1235	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	瀬間 正之			
時間割備考	日程は別途指示する			
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本語学			
本授業の概要				
本授業では、音節構造もシンタクスも異なる古代中国語を表記するために発明された漢字を用いて、どのようにノル・カタル・ウタフという言語表現を表記していったかを考察する。 資料としては、百済・新羅・倭の金石文・木簡、及び文献資料としては、祝詞・万葉集・古事記・日本書紀・風土記を用いるが、これらに影響を与えた漢籍・仏典も随時利用する。				
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	漢字資料の読解能力を向上させることができる。		知識・技能	
2	上代資料読解能力を向上させることができる。		知識・技能	
3	漢文と上代文献の読解力に応じて、みずから主体的に問題点を設定し論文のテーマとすることができる。		思考・判断・表現力	
4				
5			思考・判断・表現力	
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業中の文献読解 50%		1	
2	授業中の質疑応答 50%		2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 口誦の世界 -モノ・コトの起源をカタル 2. 祝詞の言葉 -創られたことば 3. 漢字漢文の伝来 -論語と千字文 4. 金石文・木簡 -国語表記の開発 1 5. 金石文・木簡 -国語表記の開発 2 6. 〈百済＝倭〉漢字文化圏 7. 歌と文字 -木簡に記された歌 8. 文字による歌 -記紀歌謡 9. 文字による歌 -懷風藻と万葉集 10. 漢字で散文を書くということ 11. 日本書紀の文字表現 12. 古事記の文字表現 1 13. 古事記の文字表現 2 14. 風土記の文字表現 1 15. 風土記の文字表現 2				

日本語学課題研究Ⅰ			単位数	2単位
授業コード	D1240	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	尾崎 喜光			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本語学			
本授業の概要				
本授業では、博士論文作成に向け、各自の問題意識や研究課題について集中的・焦点的に発表と検討を行う。また、分析データを得るための本調査をめざした予備調査を行い、その結果について討議する。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	予定する博士論文作成のために必要な予備調査（データ収集）ができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	関連文献を精読し適切な評価と自身の研究への位置づけができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	上記の作業を通じて博士論文作成に着手できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業活動内容：50%		1／2／3	
2	研究レポート：50%		1／2／3	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第1回：ガイダンス 第2回：研究の方向性に関する討議 第3回：研究の方向性（修正案）に関する討議 第4回：関連文献の発表と討議（1） 第5回：関連文献の発表と討議（2） 第6回：研究方法に関する討議（1） 第7回：研究方法に関する討議（2） 第8回：関連文献の発表と討議（3） 第9回：関連文献の発表と討議（4） 第10回：予備調査の結果に関する討議（1） 第11回：予備調査の結果に関する討議（2） 第12回：関連文献の発表と討議（5） 第13回：関連文献の発表と討議（6） 第14回：本調査に向けての討議（1） 第15回：本調査に向けての討議（2）				

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
研究室にて個別に伝える。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決法を考えるとともに、解決法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
木曜日3限。事前予約の上来てほしい。
連絡先
yozaki@post.ndsu.ac.jp
留意事項
授業の一部でPCを用いてデータベースを作成する。データベースの作成にあたっては、授業時間以外の時間も使う必要がある。

日本語学課題研究Ⅰ			単位数	2単位
授業コード	D1245	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	尾崎 喜光			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	日本語学			
本授業の概要				
本授業では、博士論文作成に向け、各自の問題意識や研究課題について集中的・焦点的に発表と検討を行う。また、本調査に着手し、中間結果について討議する。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	予定する博士論文作成のために必要な本調査（データ収集）に着手できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	その作業を通じて博士論文の作成を進めることができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	学会発表に向けての準備ができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業活動内容：50%		1／2／3	
2	研究レポート：50%		1／2／3	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第1回：ガイダンス 第2回：本調査に向けての調整（夏季休暇の間の検討をふまえて） 第3回：本調査の中間結果についての発表と討議（1） 第4回：本調査の中間結果についての発表と討議（2） 第5回：本調査の中間結果についての発表と討議（3） 第6回：本調査の中間結果についての発表と討議（4） 第7回：本調査のデータの示し方についての発表と討議（1） 第8回：本調査のデータの示し方についての発表と討議（2） 第9回：関連文献の追加発表と討議（1） 第10回：関連文献の追加発表と討議（2） 第11回：本調査の結果の発表と討議（1） 第12回：本調査の結果の発表と討議（2） 第13回：学会発表に向けての討議（1） 第14回：学会発表に向けての討議（2） 第15回：2年次以降の博士論文作成に向けての検討				

試験等
レポート
試験のフィードバックの方法
研究室にて個別に伝える。
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
前回の授業でのディスカッションで明らかになった課題について解決法を考えるとともに、解決法の案を次回の授業のレジュメとして作成する。おおむね4時間。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし。
オフィスアワー
水曜日2限。事前予約の上来てほしい。
連絡先
yozaki@post.ndsu.ac.jp
留意事項
授業の一部でPCを用いてデータベースを作成する。データベースの作成にあたっては、授業時間以外の時間も使う必要がある。

日本思想史特殊講義I			単位数	2単位
授業コード	D1310	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	本村 昌文			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	関連			
本授業の概要				
日本思想史上における重要なテーマをいくつか取り上げ、そのテーマに関する講義を行った後、関連する研究文献を受講者が選択し、内容をまとめて発表・質疑応答を行う。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	日本思想史研究において重要なテーマを把握し、説明することができる。			知識・技能
2	重要な研究文献（論文、研究書）の内容を的確にまとめ、問題点を指摘することができる。			思考・判断・表現力
3	他者の発表を理解し、的確な質問をすることができる。また、質問に対して適切な応答をすることができる。			思考・判断・表現力
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業での取り組み40%			1/2/3
2	最終レポート60%			1/2/3
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第1回	ガイダンス			
第2回	日本思想史の研究方法①（講義）			
第3回	日本思想史の研究方法②（演習）			
第4回	日本思想史の研究方法③（演習）			
第5回	神と仏の関係①（講義）			
第6回	神と仏の関係②（演習）			
第7回	神と仏の関係③（演習）			
第8回	儒教と仏教の論争①（講義）			
第9回	儒教と仏教の論争②（演習）			
第10回	儒教と仏教の論争③（演習）			
第11回	日本思想史における「死」①（講義）			
第12回	日本思想史における「死」②（講義）			
第13回	日本思想史における「死」③（講義）			
第14回	日本思想史とは何か？（演習）			
第15回	まとめ			

試験等
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
論文を読み、内容や疑問点をまとめる（4時間程度）。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
適宜、プリントなどを配布する。 参考文献：『日本思想史講座』1巻～5巻（ペリかん社），『岩波講座日本の思想』1巻～8巻（岩波書店）。
オフィスアワー
授業の前後
連絡先
tomtom@okayama-u.ac.jp
留意事項
自分の研究テーマと関連させながら考える意識をもつようにする。

日本思想史特殊講義II			単位数	2単位
授業コード	D1315	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	本村 昌文			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	関連			
本授業の概要				
日本思想史上における「死」に関連する史料講読を行う。今年度は、三宅尚斎（1662年～1741年）の「祭祀来格説講義」を講読する。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	江戸時代における儒教関連の1次史料を読むために必要な知識を会得する。			知識・技能
2	的確な現代日本語訳をすることができる。			思考・判断・表現力
3	関連する史料にあたり、内容理解を深めることができる。			思考・判断・表現力
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業での取り組み40%			1/2/3
2	最終レポート60%			1/2/3
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
第1回	ガイダンス			
第2回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読①			
第3回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読②			
第4回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読③			
第5回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読④			
第6回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑤			
第7回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑥			
第8回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑦			
第9回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑧			
第10回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑨			
第11回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑩			
第12回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑪			
第13回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑫			
第14回	三宅尚斎「祭祀来格説講義」の講読⑬			
第15回	まとめ			

試験等
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
担当箇所の現代語訳、関連資料の調査（6時間程度）
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
適宜、プリントなどを配布する。
オフィスアワー
授業の前後
連絡先
tomtom@okayama-u.ac.jp
留意事項
自分の研究テーマと関連させながら考える意識をもつようにする。

日本民俗学特殊講義I			単位数	2単位
授業コード	D1320	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	小嶋 博巳			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	関連			
本授業の概要				
民俗宗教について、とくに民俗社会における信仰・知識のあり方、仏教・神社神道という成立宗教との関係に焦点を当てて考察する。				
アクティブラーニングの実施内容				
調査学習				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	日本民俗学をはじめとする民俗宗教研究の立脚点・方法論・成果を理解し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力
2	民俗宗教研究の成果・方法を文学研究に援用できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	期末に課すレポートによって、上記の到達目標の達成度を評価する。			1／2
2	授業中に課した口頭発表を評価に加味する。			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. 〈宗教〉と〈信仰〉 2. 〈信仰〉と〈知識〉 3. 〈民間信仰〉と〈民俗宗教〉 4. 〈固有信仰〉という概念 5. 神社神道と民俗宗教 6. 自然神と祖霊信仰・先祖祭祀 7. 穢れ観念の発生と展開 8. 神社合祀政策と民俗 9. 仏教と民俗宗教 10. 仏教の〈民俗〉化 11. 〈民俗〉の仏教化 12. 神仏分離・廃仏毀釈と民俗 13. 縁起文学 14. 神仏を奉じる遍歴者 15. 〈俗信〉と〈迷信〉				

試験等
期末にレポート提出を課す。
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
授業のサブテーマごとに関係論文の講読が必要。週ごとに平均１～２時間程度。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
〈参考文献〉授業中に提示する。その他、必要な資料は配付する。
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける。
連絡先
s4012@m.ndsu.ac.jp
留意事項

日本民俗学特殊講義II			単位数	2単位
授業コード	D1325	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	小嶋 博巳			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	関連			
本授業の概要				
日本の民俗宗教における神がかり・憑霊について、シャーマニズム理論を検討するとともに、中国地方の神楽を主たる題材の一つとして考察する。				
アクティブラーニングの実施内容				
調査学習				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	民俗宗教研究の成果に立ってシャーマニスティックな宗教文化を理解し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力
2	シャーマニズム文化の研究を文学研究に援用できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	期末に課すレポートによって、上記の到達目標の達成度を評価する。			1／2
2	授業中に課した口頭発表を評価に加味する。			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1. シャーマニズムの理論 2. 北アジアのシャーマンと古典的なシャーマニズム理解 3. 佐々木宏幹のシャーマニズム論 4. 佐々木説批判の論説 5. 日本の神がかり 6. 中古・中世の憑霊信仰 7. 民俗社会の憑霊信仰 8. 託宣祭りの諸相 9. 修験道と神がかり・憑霊 10. 備中・備後の荒神神楽 11. 荒神信仰 12. 神楽と五行思想 13. 近世における神楽改編 14. 石見・芸北の神楽 15. 神楽とシャーマニズム理論				

試験等
期末にレポート提出を課す。
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
授業のサブテーマごとに関係論文の講読が必要。週ごとに平均１～２時間程度。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
〈参考文献〉授業中に提示する。その他、必要な資料は配付する。
オフィスアワー
授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
s4012@m.ndsu.ac.jp
留意事項

キリスト教思想史特殊講義I			単位数	2単位
授業コード	D1340	科目ナンバリング	開講年度学期	2024年度第1期
担当者氏名	袴田 渉			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	関連			
本授業の概要				
古代地中海世界に生まれ、ヨーロッパを経由して近代日本の文化・制度形成に深甚な影響を与えたキリスト教思想の歴史を学ぶ。第1期はキリスト教思想の基礎となる聖書の読解を中心に、必要に応じて近代日本文学にも言及する。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	キリスト教思想の重要な概念と学説を理解し、説明することができる。			
2	キリスト教思想史の研究法論を身につけ、自身の研究課題に応用することができる。			
3	キリスト教思想史研究の現代的意義を理解し、研究を通して得られた知見を社会に還元し他者に貢献する意欲をもつことができる。			
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業への参加態度（30%）			
2	リアクションペーパー（20%）			
3	期末レポート（50%）			
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧				
1 イン트로ダクション 2 キリスト教の歴史的背景 3 聖書読解（1） 天地創造 4 聖書読解（2） 二つの創造 5 聖書読解（3） アブラハムの物語 6 聖書読解（4） イスラエルの誕生 7 聖書読解（5） モーセと出エジプト 8 聖書読解（6） 十戒 9 旧約から新約へ 10 新約聖書の全体像 11 聖書読解（7） イエスの物語 12 聖書読解（8） 主の祈り 13 聖書読解（9） 教会の誕生 14 聖書読解（10） 黙示録 15 まとめ				

試験等
期末レポート
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める（各4時間）。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
聖書 聖書協会共同訳 旧約聖書続編付き／／日本聖書協会／3600／9784820213451／冊子版
オフィスアワー
メールでの回答のほか、授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
hakamada@nanzan-u. ac. jp
留意事項
本授業では、教員による講義に終始せず、場合により演習形式も取り入れる。

キリスト教思想史特殊講義II				単位数	2単位
授業コード	D1345	科目ナンバリング		開講年度学期	2024年度第2期
担当者氏名	袴田 渉				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）	関連				
本授業の概要					
古代地中海世界に生まれ、ヨーロッパを経由して近代日本の文化・制度形成に深甚な影響を与えたキリスト教思想の歴史を学ぶ。第2期は古代末期から中世に到るキリスト教思想史の展開を、具体的な歴史的事象とそれがもたらした文化をめぐって考察し、必要に応じて近代日本文学にも言及する。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	キリスト教思想の重要な概念と学説を理解し、説明することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	キリスト教思想史の研究法論を身につけ、自身の研究課題に応用することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	キリスト教思想史研究の現代的意義を理解し、研究を通して得られた知見を社会に還元し他者に貢献する意欲をもつことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への参加態度（30%）			1／2／3	
2	リアクションペーパー（20%）			1／2／3	
3	期末レポート（50%）			1／2／3	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
1 イントロダクション 2 迫害を越えて：ローマ帝国とキリスト教 3 三位一体論 4 キリスト論 5 修道制の誕生 6 修道規則の成立 7 西方の修道制 8 国教化と東西分離 9 シスマと十字軍 10 キリスト教文化（1） クリスマス 11 修道院の時代 12 ローマ・カトリック教会 13 宗教改革 14 キリスト教文化（2） 聖人崇敬 15 まとめ					

試験等
期末レポート
試験のフィードバックの方法
準備学習（予習・復習）に必要な学修内容・時間
授業で学んだことを咀嚼し、各人の研究テーマに即して考察を深める（各4時間）。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
聖書 聖書協会共同訳 旧約聖書続編付き／／日本聖書協会／3600／9784820213451／冊子版
〈参考書〉 ・上智大学中世思想研究所監訳『キリスト教史』1～3, 平凡社ライブラリー, 1996年. ・K・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』平凡社ライブラリー, 2000年.
オフィスアワー
メールでの回答のほか、授業終了後に教室で質問を受け付ける
連絡先
hakamada@nanzan-u. ac. jp
留意事項
本授業では、教員による講義に終始せず、場合により演習形式も取り入れる。